

2025年7月15日

NEWS RELEASE

## サステナビリティの取り組み状況のお知らせ

株式会社立花エレテック（本社：大阪市西区、代表取締役社長：布山尚伸、以下「当社」）は、サステナビリティの取り組み状況について以下のとおりお知らせします。

### 1. 南大阪支店の太陽光発電システムリニューアル

2025年5月に南大阪支店にある太陽光発電システムをリニューアルしました。

これにより従来の発電容量が約2倍に増え、それに伴いCO<sub>2</sub>削減量も倍増します。

また、蓄電池も設置することにより、万一災害があった場合のBCP対策としての機能も期待できます。



〈当社南大阪支店〉



〈発電状況等の監視画面〉

### 2. ペーパレス化の推進状況

啓蒙活動による従業員の意識改革及び紙の使用量の見える化等により、ペーパレス化が大きく進捗。この6年間で紙の使用量が年間ベースで約6.2%削減しました。

【単位：千枚】

紙の使用量集計	【基準年】 2018年度
1. 帳票類小計	7,336
2. プリンター・複合機出力分	5,453
合計（上記1+2）	12,789

2023年度	基準年 からの 削減率	2024年度	基準年 からの 削減率
2,549	65%	1,670	77%
5,083	7%	3,207	41%
7,632	40%	4,877	62%

### 3. 当社のマテリアリティの更新

2025年度の環境配慮型製品の目標につきましては、お客様のニーズが想定より大きく上回り、この度上方修正いたしました。

（別紙のとおり。修正箇所赤字）

#### 【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社立花エレテック 広報I R部

電話番号：06-6539-2718（受付時間9時～17時45分）

(別紙) マテリアリティに基づく重点テーマと指標 (KPI)

分野	マテリアリティ	重点テーマ（施策）	指標（KPI）	数値目標	実績		目標
					2023年度	2024年度	
(E) 環境	環境配慮型製品の拡販～資源の集中による徹底的な深掘	【FAシステム事業】 ソリューションビジネスの拡大	ソリューションビジネスの取組 システム、ロボット、3Dプリンター、エレシリンダー導入により、①ペーバーレス、②省人化、③省エネ化、④見える化によって電力使用量削減に資する案件件数	(顧客側での) ①電力使用量削減による電力使用量削減案件 省人化による電力使用量削減案件 省エネ化による電力使用量削減案件 見える化による電力使用量削減案件	26件 137件 57件 139件	93件 137件 152件 211件	30件➡100件 100件➡140件 50件➡160件 200件➡220件
		【半導体デバイス事業】 半導体技術部門活動の拡大	お客様へのシステム提案及びソフト開発 ①拡張時の環境改善、省エネ化、省人化につながるソリューションの提案・PoC及びデモセット活用による提案 ②ソフト開発活動に関わる省エネ化 ・デバッグボードや開発環境を未使用時は電源OFFすることによる省エネ ・仕様書の印刷削減(ペーバーレス化)・開発効率の向上（残業の削減） ③展示会でのペーバーレス化 ・ET-West・ET横浜での配布資料を電子化 ④省エネ製品の開発に着手 ・エアコンメーカーの省エネ対応機種のソフト開発	①ソリューションの提案＆開発件数 ②開発活動による電力使用量削減 ③展示会ペーバーレス化による電力使用量削減 ④省エネ製品のソフト開発件数	157件 10.5kWh 5.1kWh 88件	161件 12.2kWh 5.6kWh 100件	170件 10.8kWh➡13.2kWh 5.7kWh 100件➡100件
		【施設事業】 再生エネルギーへの貢献	再生エネルギーの取組 ①太陽光発電システム、②蓄電池、③EV急速充電スタンド、④LED	(顧客側での) ①太陽光発電システム導入によるCO2削減 ②定置型蓄電池導入によるCO2削減 ③EV急速充電スタンド導入によるCO2削減 ④LED導入によるCO2削減	3,828t 37.4t 2.3t 7,824t	4,571t 0.0t 3.0t 7,236t	4,000t 10t 15t 7,500t
	CO2削減への取り組み	照明・空調設備の節電取組み	電気使用量の売上高比率の削減（GWh/百億円）		12.8%	13.1%	12.0%
		Scope1削減	ガソリン使用量の売上高比率の削減（kℓ/億円）		9.1%	9.1%	8.0%
(S) 社会	人基盤経営の深化 (人的資本強化への対応)	人財育成に資する研修実施 (人的資本強化への対応)	管理職向け研修 ～現状は新任登用者のみの研修であるが、今後は、全本部長、部長、課長向けの研修を定期的に開催していくことで、部下指導・育成やリーダーシップの底上げを図っていく 女性のキャリアアップを推進する研修 ～女性社員の活躍を促進するため、女性社員が上位等級を目指していきたいと思えるマインドを醸成していくような研修を新設していく 若手を対象とするキャリアアップ研修 ～若手社員の将来的なキャリア形成イメージの醸成を支援するような研修を実施していくことで、若手社員の定着・育成を図っていく 専門的な能力・技能向上を目的とする研修 ～実務と関連が深く、かつ取得が難しい専門資格の取得を後押しし、社員の専門性や技能向上を図っていく 人間道場実施回数 ～人事主催研修や事業主催会議等の後に、人間力醸成を目的として懇談会スタイルで意見交換を行える人間道場の実施回数を増やしていく	5回 1回 8回 23回 26回	11回 2回 9回 24回 33回	15回 10回 10回 30回 50回	
			（内） 2件	(内) 4件		なごみ会での社内案件検討や地域貢献活動については、外部環境等に左右されるため、目標は定めませんが、実績については開示して参ります。	
		なごみ会活動・地域貢献活動の推進	なごみ会活動の推進（社内、社外ともに）	(外) 4件	(外) 7件		
	地域社会とともに 発展・成長の実現						
(G) ガバナンス	経営体制の有効性と 透明性を追求	コーポレートガバナンスの強化	重大な不正やコンプライアンス違反発生ゼロの継続 グループベースでのコンプライアンスリスク管理体制を構築	0件	0件	0件継続	
				子会社のコンプライアンスリスク管理状況調査	グループベースでのコンプライアンスリスク管理体制を構築 ①単体：建築法・工事安全に関する対応強化 ②子会社：情報セキュリティー管理の状況確認とそのフォロー、定期的な対応進捗の確認、建設業法等の法令遵守勉強会の開催（研電工業）。	親会社のコンプライアンスリスク管理体制強化及び子会社のコンプライアンスリスク管理体制の構築	
	コンプライアンスの強化	従業員へのコンプライアンス研修の実施	社内及び社外研修の実施	インサイダー及びコンプラ研修の企画・設計	従業員へのコンプラ研修の実施 ①マネージャー向けコンプラ研修開催（モラル、インサイダー、ハラスマント） ②建築法・工事安全に関する勉強会の開催	・インサイダー研修 ・コンプライアンス研修	